

2024年度司書講習 終了しました。

今年度もたくさんの受講生の方が3か月の集中講座を受講されました。

年 度	全科目受講者数	全科目修了生数
2024	41	33
2023	43	33
2022	63	51
2021	41	36

今年の夏は台風の襲来で時間割の変更が発生し、受講生の皆さまへご負担をお掛けすることになりました。

受講生の皆さまのご理解とご協力のもと、無事に乗り越えることができました。

せつかくの対面期間が減ってしまったことが残念だったというお声をいただきました。

オンライン授業が増える中、対面授業期間があることが桃大の司書講習の特色の一つです。

今年の夏は特に暑く通学も大変だったと思いますが、受講生さん同士の交流を育み、有意義な時間としていただくことを望んでおります。



本年度の講習の様子をご紹介します。

水沼先生の『図書館概論』の講義の様子です。

先生の講義はオンデマンド、オンラインリアル、対面の授業があります。

画面越しでしか見たことがない先生と実際に顔を合わせて授業を受けられる時間があるのはとても貴重と、皆さん熱心に受講されていました。



小前先生の『児童サービス論』の対面授業では、絵本の読み聞かせの演習があります。

皆さんにお好きな絵本を持ってきていただき、グループに分かれて実際に子どもたちに読み聞かせを行うように発表します。

単に読み聞かせと言っても、実は様々なテクニックが必要です。

これまで絵本に縁のなかった方々も、実際に絵本に触れることでその良さを再認識し、ご家庭でお子さんに絵本を読んでもらいたいとお声もいただきました。



優秀者には皆さんの前で発表をして頂きました。



『情報サービス演習』の篠塚先生の授業では、大学図書館でのレファレンスサービスの実習があります。レファレンスの質問を先生が事前にご準備していただき、受講生が様々な方法で調査するという学習を行いました。個人でPCをお持ちになる方、大学貸与のPCで作業される方と様々ですが、司書にはPCのスキルは必須です。ある程度のスキルをお持ちの方も「こんな調べ方があるんだ！」という初耳なノウハウを学ばれてモノにしていけます。



司書の業務は多岐にわたりますが、レファレンスサービスという業務は司書にはなくてはならないスキルです。

大人がビジネスや調べものに使用する図書館の機能を存分に発揮する為には、司書の存在が不可欠です。

皆さん一生懸命に取り組まれていました。

ここで学ばれた様々な知識を、職場だけでなく、地域やご家庭でも活かして、皆さまの活躍の場を増やしていただきたいです。

当学の講習では7月、9月はオンライン授業（ライブ配信と録画配信）が中心で、8月が対面授業期間となっております。酷暑の中通学されるのは大変ですが、他の受講生の方々との絆を深めるのに良い期間でもあります。

オンライン授業で孤独感や不安を感じていた方々も、この期間で一気に交流を深め、ハードなスケジュールを乗り越えられていきました。

司書講習は、年齢も立場も多岐にわたった方々が集ってこられる貴重な場です。

普段接することのない方々と横の交流をして、資格取得と共に新しい出会いを結んでください。

2024年10月吉日